

* 研究目的

本研究では、研究幹事の北村らが1996年から開発・運用を続けてきた日本語教育用学習支援システム「リーディング・チュウ太 (Reading Tutor)」をさらに発展させるとともに、これを援用して日本語学習者向けの読解教材を開発することを目的とする。近年、言語学習の分野では、多読(多量の文章を読むこと)にもとづく学習法や自律学習がトレンドとなっている。しかし、ここで問題になるのが、学習者の興味を満たす多様な読解教材(語彙に関する説明を含む)をいかにして用意するかということである。本研究では、自然言語処理技術を応用することによって読解教材を作成する技術を開発するとともに、その読解教材を活かす教授法も開発する。さらに、これらの技術に関する講習会を日本語教師向けに開催し、研究成果の普及を目指す。

* 研究チームメンバーと研究課題

北村 達也	甲南大学知能情報学部知能情報学科 准教授	読解教材作成支援システムの開発, インターネットでの教材提供
森川 結花	甲南大学国際言語文化センター 日本語特任講師	読解教材の作成, 開発するシステムを活かした教授法の開発, 本学での試用および評価
永須 実香	上智大学・国際教養学部 国際教養学科・講師	読解教材の作成, 開発するシステムを活かした教授法の開発, 上智大学での試用および評価